

# 低たんぱく米知って

## 腎臓・糖尿病の食事療法にマッチ

腎臓病、糖尿病患者らの食事療法に適しているとされる低たんぱく質の米「春陽」を知ってもらおうと、能登町の農事組合法人「岩井戸農産」(棚田昭男代表理事、16人)が昨年初収穫した米を半年間試食してくれるモニター約50人を募集している。純米酒「岩井戸」も完成し、関係者は「健康への関心が高まる中で付加価値のある米。反応をみて生産を増やしていきたい」としている。(金井信義)

### 能登の農事組合

春陽は一般の米に比べて、含まれるたんぱく質の量は変わらない

## モニター50人募集

が、人間に消化されやすいたんぱく質の割合が少ない。その分、同じ量を食べてもたんぱく質の摂取量が少なくなり、食事制限が必要な患者らに適しているという。粘りや甘みは少ないが味は良く、県内では根上農協(能美市)が唯一、数年前から年18トを生産している。同法人では昨年、取引先のメーカーからの紹介で約1・5トに初めて作付けし、約7トを収穫した。うち600トを使い、町内の酒造会社で「岩井戸」320トを試作した。棚田代表理事は「米はあっさりした味で粘りけが少ないのでチャーハンなどに合いそう。岩井戸はすっきりしていて飲みやすい」という。

能登町で初めて生産された低たんぱく米「春陽」と純米酒「岩井戸」 能登町黒川



モニターは5月中旬まで先着順に受け付ける。春陽30トを無料で試食してもらい、体調などを尋ねるアンケートに答えてもらう。また、同法人は5ト入り2500円で春陽の販売もする。岩井戸は地権者や農協関係者らに試飲してもらい、販売は来年以降に検討するという。申し込みや問い合わせは岩井戸農産(電話0768・76・1439、ホームページ<http://iwaido.jp/>)へ。